

議案第50号

子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書案
について

沼田市議会会議規則第13条第1項の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

令和5年6月15日提出

沼田市議会議長 中村浩二様

提出者	沼田市議会議員	高柳勝巳
賛成者	同	大東宣之
同	同	山宮敏夫
同	同	星野妙子

子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書（案）

コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されるようになったが、感染対策を徹底しながら、子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっている。

小学校では、コロナ禍を受けて全学年での少人数学級化が順次実施されており、2021年度『学校基本調査』によれば、公立小学校の学級あたりの平均児童数はすでに22.7人になっている。一方で、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）が、基準制定以来70年以上一度も見直されてないことは由々しき事態と言わざるを得ない。

今年の4月に「こども家庭庁」が設置された。政府はこれまで以上に子ども関連施策の充実・推進をめざし、予算も倍増するとしている。いまこそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇の改善を国の責任ですすめるべきである。

よって、国におかれては、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう、強く要望する。

- 1 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を図ること。
- 2 公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年 月 日

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣

文部科学大臣

様

内閣府特命担当大臣（少子化対策）

衆議院議長

参議院議長

沼田市議会議長 中村浩二